

認知症と嚥下障害

～その特徴と栄養手段の選択・倫理～

本多 知行先生

白石共立病院
大阪保健医療大学客員教授

昨年延期させていただいた本講演を開催できる運びとなりました。
皆さまどうぞご参加ください。

【講演要旨】日本の認知症罹患数は2020年には300万人と試算されている。認知症による嚥下障害は13～57%に存在することから、増加する認知症患者における嚥下障害は重要な問題である。認知症のタイプにより嚥下障害の特徴がある。先行期障害が強い時期やBPSDを有する時期での嚥下障害への対応は難渋する。終末期としての栄養手段や倫理も大きな問題である。今回は認知症と嚥下障害についての基礎的概要をまとめてみたい。

本多知行

2019年 **12/7(土)** 16時～18時 (受付開始15時30分)

大阪保健医療大学 2号館 大阪市北区天満1-17-3

定員 **200** 名 (先着順) 受講料 **無料**

日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士単位セミナー (Ⅱ) 申請中

申込方法 下記①～④を明記の上、メールでお申し込みください。
1週間以内に返信メールを送ります。

※届かない場合は必ず電話でお問合せをお願いします。

- ①氏名 ②ご所属 ③ご連絡先 (電話番号とメールアドレス)
④嚥下リハ学会認定士取得の有無

ご連絡先は、急な連絡が生じた場合に利用させていただきます。

申込先 st-senkouka@ohsu.ac.jp

お問合せ 大阪保健医療大学 言語聴覚専攻科

Tel : 06-6354-0091

